

世界を見つめ
地域を考える



四日市大学



開学30周年記念号



CONTENTS

四日市大学開学30年を迎えて…P1
 次の30年にむけて…P2
 新しい学びを創造する…P3
 新しい学びを学ぶ…P4
 新しい学びと社会を結びキャリア支援・就職指導…P5

開学30周年記念祝賀会…P5
 大学と社会を結ぶ…P6
 2018よんよん祭…P6
 TOPICS…P7
 四日市大学特待生奨学金…P8

CLUB…P8
 学生会役員…P8
 教職員・退職・新任紹介…P8
 2019年度入学試験日程案内…P9
 大学行事予定…P9

“四日市大学開学30年を迎えて”



暁学園理事長
丸山 康人

いまを去ること40数年前。資料によれば四日市市役所のなかで、すでに、「四日市に大学を」という動きが出ていたとのことですが、昭和50年（1975年）の頃の話ですが、この動きの中で、四日市市は大学設置を目的とする懇話会を開催。その懇話会では、暁学園に大学を設置したらどうかという声もあつたのですが、暁学園としては、この誘いに、飛びつくことはありませんでした。大学を設置する以上は、暁学園にふさわしい学生に入学してもらわなければならず、そのためには、学生に満足してもらえらる設備、さらには、充実した教員スタッフをそろえる必要があつたからでしょう。

しかし、その後、市役所と話し合いを重ねるなかで、次第に、大学を設置するという話が現実的になっていきました。また、充実した教員スタッフを獲得する見通しもついてきましたので、暁学園としても大学の設置を決定したとのこと。そして、昭和60年（1985年）10月、市と学園が“協力”して大学を設置するという協定を、四日市市

と結びました。

こうして、四日市大学を設置するための本格的な準備が始まり、昭和63年（1988年）4月、500人を超す入学生を受け入れて、入学式を行いました。四日市大学がスタートしたのです。暁学園も、最高学府である四日市大学が加わり、幼稚園から小学校、中学・高校・短大・大学を擁する総合学園になりました。

30年という時を経て、四日市大学は学園綱領“人間たれ”のもと、多くの“生きる力”そして“他人を思いやる心”を持った学生を世に送り出しました。

暁学園としても、四日市大学の存在を誇りに思っています。また、教員スタッフもますます充実するようになったと感じているところです。

先日も社会科学の専門誌である『月刊ガバナンス』（ぎょうせい）をみていますと、その表紙を飾っているのが四日市大学の学長でした。こうした教員の活躍ぶりが今後も続くことを期待しています。

四日市大学沿革

一九八五年	十月	暁学園と四日市市との間に「四日市大学設置に関する協定」締結
一九八八年	四月	四日市大学開学 経済学部経済学科・経営学科開設
	十一月	アメリカ・カリフォルニア州立大学 ロングビーチ校と「学術交流協定」締結
一九八九年	五月	中国・南開大学経済学院と「学術交流協定」締結
一九九七年	四月	環境情報学部環境情報学科開設
二〇〇一年	三月	国際環境規格ISO14001の認証取得
	四月	総合政策学部総合政策学科開設 四日市大学地域政策研究所開設 四日市大学産学同友会発足
二〇〇二年	二月	オーストラリア・クイーンズランド大学と「学術交流協定」締結
	十二月	中国・北京大学環境学院と「学術交流協定」締結
二〇〇四年	四月	環境情報学部 メディアコミュニケーション学科開設
二〇〇五年	四月	経済学部現代ビジネス学科開設
二〇〇六年	四月	環境情報学部社会環境デザイン学科開設

“次の30年にむけて”



四日市大学 学長
岩崎 恭典

10月13日、四日市大学同窓会主催の「大学開学30周年記念祝賀会」が、学生食堂で開催されました。多くの卒業生が、昔話で盛り上がりつつありますが、特に、山の中に開学した本学が、今や、隣接地には、世界有数のIC工場が立地し、関東と関西、そして中部環状といった高速交通体系の結節点に位置することになった、その変貌ぶりに驚きの声が多く聞かれました。

これからの30年は、今まで以上に、大学を取り巻く環境は激変していくことでしょう。2045年には、一台のコンピュータが過去・現在の全人類の知識を持つことになるというシンギュラリティ（技術的特異点）を迎えると言われています。人口減少と高齢化、そして、外国からの移民によって、地域の光景は一変することも予想されます。

だからこそ、激変する環境の中で、生き抜いていく力を身に付けた卒業生を送り出すことが本学の使命となるはずです。

既に、カリキュラム改革によって、様々な人々と話し合い、課題解決に向けて合意形成

を図っていくという、コンピュータにはできない、リアルなコミュニケーション能力を磨くことを重視するプログラムを導入しています。が、今後は、さらに、「北勢地域・四日市を教室」として、地域の人々を先生として「教育する仕組みを充実させていきたいと思っています。

1万人に及ぶ卒業生と保護者のみなさまに対する、人生100歳時代における学び直しプログラムや日本で働きたいと強く希望する外国人留学生の教育にも力を入れ、多世代、多民族で構成された大学という場を創っていくことができたいと思っています。

次の30年に向けて、大学も歩み続けたいと思います。どうか、物心両面のご支援のほどをお願い申し上げます。

この原稿を書いている快晴の日曜日、今、大学では大学祭が行われています。歓声と音楽、トンテキや焼き鳥のにおいが立ち込め、いつもとまったく違う雰囲気のカンパスで、この瞬間を在校生が記憶に残し、未来を切り拓く力にしてほしいと期待します。

二〇〇七年 四月
四日市大学地域政策研究所を
四日市地域研究機構へ改組

二〇〇八年 三月
モンゴル・エコアジア環境大学と
「学術交流協定」締結

二〇〇九年 四月
四日市大学研究機構に関孝和数学研究所開設

十月
四日市大学研究機構に
サステイナビリティ研究所開設
四日市大学研究機構に公共政策研究所開設

二〇一一年 三月
公益財団法人日本高等教育評価機構の
大学機関別認証評価基準に「適合」と認定

二〇一三年 四月
経済学部経済経営学科開設

十一月
トルコ・チャナッカレ・オンセキズ・
マルト大学と「学術交流協定」締結

二〇一四年 七月
文部科学省「地（知）の拠点整備事業」に採択

二〇一五年 六月
経済産業省
「産学連携サービス経営人材育成事業」に採択

二〇一七年 四月
総合政策学部及び環境情報学部の
2学部体制に改組

二〇一八年 三月
公益財団法人日本高等教育評価機構の
大学機関別認証評価基準に「適合」と認定

二〇一八年 七月
四日市大学研究機構に地域農業研究所開設

新しい学びを創造する

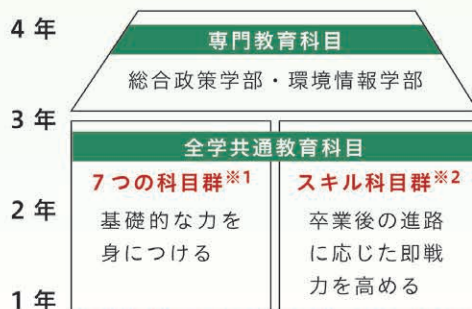
カリキュラム

本学は2017年度に新しいカリキュラムにより、特色ある2学部5分野を形成し、質の高い学びを実現することで、地域に密着した四日市大学らしい学びで、地域に貢献する人材育成を続けています。

総合政策学部	総合政策学科	地域・まちづくり分野
		国際・経営分野
		スポーツ・人間分野
環境情報学部	環境情報学科	自然環境分野
		メディア情報分野

「全学共通教育科目」と「専門教育科目」の学びのイメージ

7つの科目群とスキル科目で構成される「全学共通教育科目」で学部専門教育のベースとなる知識と技術を身につけます。



(※2) スキル科目群

- 英語力養成ユニット
- 社会調査士養成ユニット
- メディアデザインユニット
- 公務員養成ユニット
- おもてなし経営ユニット
- 数理・統計力養成ユニット

(※1) 「基礎」「語学」「情報」「キャリア」「地域」「系列(教養)」「特別」の7科目群

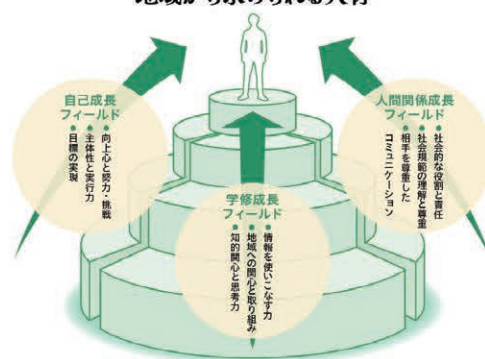
四日市大学独自の「成長スケール」で学生の成長を共有

四日市大学の建学の精神である「人間たれ」には、学生が自分の可能性を模索しながら目指すべき人間像を見つけ、成長してほしいという思いが込められています。

文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)に採択された四日市大学では、その事業の一環として「成長スケール」を開発しました。これは、学生が4年間の大学生活を通じて、どんな成長をどの程度達成したのかを示す基準となるものです。

重要なのは、成長を評価することにより、学生が自身の成長について考え、そのプロセスを教員と共有することです。この「見える化」された成長を共有することで、大学生活を通じて建学の精神の実践を目指します。

地域から求められる人材



Good Practice賞

10月3日(水)に開催した教学フォーラムにおいて、平成30年度前学期「四日市大学 Good Practice 賞」の表彰式を行いました。「Good Practice 賞」とは四日市大学FD委員会の取り組みとして、学生を対象に実施した授業改善アンケート等の結果に基づき、評価の高かった優れた授業等を学長が表彰するものです。

今回の受賞者は、環境情報学部の井岡幹博教授(写真右)です。受賞理由としては、授業改善アンケートで、担当科目のうち「情報と職業」、「コンピュータリテラシー」の2科目が「授業・教員について」の設問の回答が平均4.5以上にランキングされたことによるもの。本学では今後も教育改善・改革を推進するために、教員の優れた取り組みを顕彰し、より質の高い教育を実践していきます。



新しい学びを学ぶ

祭りを通して考える

総合政策学部 3年
柳川 茜



私は、警察官になる夢を叶えるために四日市大学に入学しました。四日市大学では、地域の祭りやイベントに参加できる授業がいくつもあり、地域の人たちと一緒に活動に参加することによって、地域の伝統を守ることに貢献したり、その中でできる絆を身にかけて体感することができます。それと同時に、私は誰かのために行動することが自分に合っていると実感しました。

そこで私は、生まれ育った三重県で、地域の人たちのために役に立っている人になっていきたいと考えようになり、警察官への夢がさらに膨んでいきました。このような活動に参加できる環境が整っている四日市大学に入ることができたことに感謝しながら、これから先の行動に取り組んでいく決意です。

身近な海から環境を学ぶ

環境情報学部 3年
藤崎 蓮



「あなたには伊勢湾はどのように見えますか。」穏やかで綺麗な海に見えると思います。ですが、海底にはヘドロがあり、多くの漂流ごみやマイクロプラスチックがあるのです。私も入学当初は全く知らなかったのですが、伊勢湾の海洋調査実習やゼミでの活動を通じて、今は伊勢湾の環境問題について学んでいます。特に世間でも話題になっているマイクロプラスチックの調査に力を入れています。こうした地元を中心として環境のことを学べるのは、四日市大学だからこそだと思います。

将来は、学んだことを生かして、少しでも地域の問題解決に向けて取り組んで行ければと考えています！

自分の可能性を知る

総合政策学部 3年
竹折 優希



私は、これまでに講義を通じて地域コミュニティを学ぶために自治会の祭りに、地域文化を学ぶために大四日市祭りに、市政の仕組みについて学ぶために市民ミーティングに参加してきました。また、講義だけでなく入学当初から大学祭実行委員会、災害支援の会に参加し、東北や熊本で主にボランティア活動をさせていただきました。そして、これらの経験を活かすために地域の学生消防団に入団し、貴重な経験を積ませていただいています。

現在は、様々な活動でリーダーなどの重要なポストも任せていただき、大変なこともあります。これらの経験で得たものは将来の大きな糧になると思い一生懸命努めさせてもらっています。

新しい学びと社会を結ぶキャリア支援・就職指導

四日市大学では、学生一人ひとりの希望や適性に合わせた進路を見つけていくために、すべての教職員による強力なサポート体制をとっています。1、2年生のプレ就職ガイダンスに続き、3年生からスタートする就職ガイダンスでは、具体的な就職活動の準備から、内定獲得後の対応まで、就職活動におけるすべての知識をわかりやすく理解することができます。外部講師によるより実践的な内容も組み込み一つ一つを理解し、自己のものとしていくことが出来れば、確実に力が付くよう構成されています。その他、企業紹介、求人情報提供、就職試験対策など多彩なサポートプログラムを提供しています。四日市大学は、学生の希望実現に向け、最後までとことん付き合っていきます。



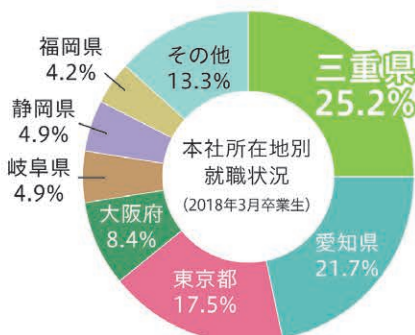
就職実績 (2018年3月卒業生)

就職率 **99.3%** 就職満足度 **86.4%**

(2018年3月卒業生)
[文部科学省・厚生労働省の調査方法に基づく]
就職決定者数/就職希望者数

(2018年3月卒業生)

半数以上の学生が、地元の企業を中心に就職しており、毎年高い水準の就職率を維持しています。



主な就職先(過去3年)

新日鐵住金/豊田合成/トピア/東洋電機/アルフレッサ/富士薬品/佐川急便/西濃運輸/山九/カリツー/日本貨物検数協会/三岐鉄道/総合警備保障/伊勢湾防災/ファーストリテイリング/青山商事/エディオン/イオンテール/パローホールディングス/ファミリーマート/ZTV/シー・ティー・ワイ/トランスシティコンピュータサービス/第三銀行/北伊勢上野信用金庫/石巻信用金庫/四日市市役所/三重県警察本部/愛知県警察本部/大阪府警察本部/鳥取県警察本部/亀山市消防本部/豊川市消防本部/日本郵便 など



水谷 晴香
総合政策学部 4年

株式会社 住友電装 内定

大学生活は、振り返ってみると本当に充実した4年間でした。

テニス部に所属していましたので、クラブ活動に力を注いだだけでなく、大学での授業に加え、地域に密着した活動に積極的に参加したことが、私の大きな自信に繋がりました。そしてこの経験から自分の生まれ育った町で、将来は働きたいという想いを強く抱くようになったのです。

おかげさまで、来春より地元、三重の株式会社住友電装で働かせていただくことが、決まりました。四日市大学で学んだことは私にとって大変大きな礎になると思います。

四日市大学開学30周年記念祝賀会(同窓会主催)



平成30年10月13日(土)に、四日市大学同窓会主催による四日市大学開学30周年記念祝賀会が学生食堂において開催されました。祝賀会は丸山康人理事長、岩崎恭典学長、永戸正生名誉教授をはじめ、現役教職員や卒業生、在校生あわせて150人以上が出席しました。同窓会の伊藤清会長から祝辞が述べられ、御自身の学生時代の思い出話もご披露いただきました。また、岩崎学長からは大学の歴史を振り返りつつ、これからの大学の発展に向けた強い決意が述べられました。

祝賀会は、毎日学生のランチを作っている食堂スタッフが腕を振った豪華な料理がズラリと並び、またスライドショーや福引などのアトラクション、懐かしい話で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。会場のあちらこちらで皆さんが笑顔で交流され、賑やかな祝賀会となりました。

大学と社会を結ぶ

「地域社会と共生する地域貢献型大学」 社会連携センター

四日市大学では、社会連携センターを平成24年度より設置しています。また平成26年度には、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（COC事業、期間：平成26年～30年度）」に採択され、三重県、四日市市及び地域の企業、メディア、市民団体など各界の皆様にご協力をいただきながら地域と共に教育・研究・社会貢献活動を進めています。

また、社会連携センターに設置している「ボランティアセンター」では、地域からの多彩なボランティア依頼を受け付け、学生全員にメールで情報送信しています。学生がボランティア活動を通して、地域の方に教えて頂きながら成長できる環境を整えています。



豪華客船四日市港寄港の
経済効果アンケート調査を行う学生たち

ボランティア活動の実績（ボランティアセンターを通じて申し込んだ活動のみ）

年度	項目	依頼件数	学生参加者数	
			延べ	実数
平成28年度		55件	197人	38人
平成29年度		63件	223人	77人
前年度比(%)		115%	113%	203%



吉崎海岸（四日市市楠町）の清掃活動に参加する学生たち

ボランティア活動の例

- 子供たちの学習支援
- 御池沼沢環境保全
- 小学校図書ボランティア
- 三重県警の少年育成啓発活動の補助
- 地域の夏まつりの運営スタッフ
- 音楽祭の運営スタッフ
- 特別支援学校の方との交流
- 花火大会見学会の運営補助
- 小中学生のロールプレイ学習のサポート
- 障がい者スポーツ大会の競技進行補助、準備など

生涯学習

四日市大学は地域に貢献する大学として、学び直しや教養・スキルの深化などの生涯学習を目指す社会人の皆様に、大学教育を積極的に開放しています。「きちんと学びなおして自分を高めたい」、「仕事や子育てもひと段落し、新しいことにチャレンジしたい」、「市民活動に参加するための知識を得たい」などの目標を持った多くの方が、本学の生涯学習プログラムに参加されています。

【四日市大学の生涯教育の取組み】 お申し込みは、[] 内の担当部署までご連絡ください。

- コミュニティカレッジ [コミュニティカレッジ]
- 科目等履修生、聴講生、公開授業、履修証明プログラム [教学課]
- 社会人入試 [入試広報室]

2018よんよん祭 「Harmony ～地域と大学の調和～」

第10回となる四日市大学・四日市看護医療大学合同大学祭「よんよん祭」が10月27日（土）、28日（日）に開催されました。沢山の方々に足を運んでいただきました。今回のテーマは、「Harmony ～地域と大学の調和～」。地域と大学がこの大学祭を通して、さらに繋がるようにと願いを込めました。今年、スペシャルゲストとしてシンガーソングライターのNOBUさんがステージに登場。両日共晴天に恵まれて、学生だけでなく、地元の方々にも参加いただき、思い出に残る第10回の大学祭となりました。



留学生・日本人学生交流研修旅行



毎年恒例の留学生・日本人学生交流研修旅行を、2018年9月11日(火)～9月12日(水)の1泊2日の行程で実施しました。

今年度の行先は奈良・京都で、留学生、日本人学生あわせ78名が参加しました。1日目は、法隆寺、東大寺を訪れ、寿司造り体験も行いました。その後、ホテルでの夕食後、交流会を行い「O×ゲーム」や「いす取りゲーム」で、大いに盛り上がりました。

2日目は、外国人観光客に大変人気の千本鳥居がある伏見稲荷大社、嵐山、金閣寺を訪れました。

1泊2日という短い期間でしたが、普段できない体験をし、日本の歴史や文化・風土を垣間見ると同時に、学生生活の良い思い出をつくることができました。

日本留学AWARDS



四日市大学は、「日本留学AWARDS」において6年連続上位入賞しました。受賞理由は「生活・学習面の留学生サポート」、「日本語学校との連携」等の取り組みが評価されたものです。

「日本留学AWARDS」は、一般財団法人日本語教育振興協会「日本語学校教育研究大会」が主催する「留学生の環境整備を目的」に設立された賞で、全国の日本語学校教職員が留学生に勧めたい進学先を選ぶものです。西日本、東日本の専門学校、私立大学文系、私立大学理系、国公立大学、大学院のカテゴリーがあり、本学は西日本地区大学(文科系)部門において連続して入賞することができました。表彰式は8月7日(火)に東京で開催され、本学を代表して、留学生支援委員の加納光教授(写真右)が出席し表彰状が授与されました。

海外語学研修



研修先：サザンクロス大学 コフスハーバーキャンパス
研修期間：2018年8月18日(土)～9月2日(日)までの約2週間

総合政策学部 2年 浅井 一輝

オーストラリアの語学研修に参加しました。現地のサザンクロス大学で朝から英語の勉強をし、放課後は同じクラスの日本人学生や先生とショッピングや動物園に行ったりしました。英語が苦手ですが不安はありませんでしたが、ホームステイ先の方や学校の先生方がみんな親切で、楽しく過ごすことが出来ました。朝日を見に行ったり、コアラを抱っこしたり、カンガルーにエサをあげて、国立公園で自然を観察したり、クジラを見ることができたり、すごくいい経験になりました。1年生の時にも語学研修に参加すればよかったと後悔しています。英語に自信が無い僕でも案外通じるし、向こうも親切に聞いてくれるので、迷ってる人はぜひ、参加して欲しいです！

四日市大学特待生奨学金 平成30年度前学期成績優秀学生として計7名が選出されました。

学部	学年	氏名
経済学部	3年	的場 敦
総合政策学部	3年	竹折 優希
総合政策学部	3年	柳川 茜
総合政策学部	2年	小島 諒子

学部	学年	氏名
環境情報学部	3年	長谷川 奨
環境情報学部	2年	大和田 祐馬
環境情報学部	2年	宮原 雄大

CLUB 平成30年度前学期課外活動団体(クラブ)表彰 ソフトテニス部、テニス部が表彰されました。

ソフトテニス部

[試合結果]

西日本学生大学対抗 準優勝
 全日本学生大学対抗 ベスト16
 全日本学生選手権 ベスト16 徳丸歩夢・三好優樹ペア
 国民体育大会出場 柳田賢太郎 篠原史諭



テニス部

[試合結果]

第86回 全日本学生テニス選手権大会出場
 東海学生テニスリーグ戦 男子1部リーグ4位
 東海学生テニスリーグ戦 女子2部リーグ昇格



学友会役員 2018年度四日市大学 学友会役員を紹介します。

学友会は、学生生活の充実と資質の向上、本学における学術・文化・勉学・スポーツ等の発展及びそれに基づく学生間の幅広い交流を目的としています。主な活動は、新入生歓迎会、クラブ活動援助、大学祭、卒業記念謝恩会、施設設備の充実などです。

役員名	氏名	学部	学年
会長	平野 智也	環境情報学部	3年
書記	杉谷 絵莉	総合政策学部	3年
書記	佐藤 克憲	総合政策学部	2年
会計	中島 玄德	総合政策学部	3年
会計	寺井 駿介	環境情報学部	2年

教職員・退職・新任紹介

平成29年度退職教員

平成30年3月31日付をもって、3名の教員の方が退職されました。

- ◆経済学部 特任准教授 谷崎 智子 先生
- ◆経済学部 特任准教授 高木 孝紀 先生
- ◆総合政策学部 准教授 柴田 啓文 先生

平成30年度退職教職員

平成30年12月までに、3名の教職員の方が退職されました。

- ◆総合政策学部 教授 神長 唯 先生(9月30日付)
- ◆総務・企画部 渥美 昭吾 さん(11月30日付)
- ◆教育・学生支援部 足立 高俊 さん(8月31日付)

平成30年度新任教員

平成30年4月1日付にて、1名の教員が着任されました。

- ◆環境情報学部環境情報学科 特任准教授 橋本 幸彦 先生 専門は動物生態学、保全生態学、野生生物保護管理学です。

2019年度入学試験日程案内

入試種別	日程	会場	エントリー期間／出願期間	試験日	合格発表
AO	Ⅲ期 課題解決方式	本学	3月 4日(月)～3月20日(水) 出願～3月22日(金)	3月25日(月)	3月26日(火)
クラブ推薦	D	本学	2月22日(金)～3月 1日(金)	3月 8日(金)	3月12日(火)
学力	A	本学 名古屋・津	1月 4日(金)～1月28日(月)	1月30日(水) 1月31日(木)	2月8日(金)
	B	本学	2月 7日(木)～2月20日(水)	2月22日(金)	2月26日(火)
	C	本学	2月22日(金)～3月 7日(木)	3月 8日(金)	3月12日(火)
センター	Ⅰ期	—	1月 4日(金)～2月 4日(月)	—	2月8日(金)
	Ⅱ期	—	2月 7日(木)～2月22日(金)	—	2月26日(火)
	Ⅲ期	—	2月22日(金)～3月 8日(金)	—	3月12日(火)
	Ⅳ期	—	3月 8日(金)～3月22日(金)	—	3月26日(火)

奨学金制度のお知らせ

入学試験特待生について

学部	奨学金免除額(年額)		入試特待生定員
	Ⅰ種	Ⅱ種	
総合政策	522,500円	313,500円	30名以内 (Ⅰ種・Ⅱ種合わせて)
環境情報			

一般推薦入試、学力および大学入試センター試験利用入試で特待生(Ⅰ種またはⅡ種)を採用します。

採用された場合は、授業料等(授業料・教育充実費)の50%(Ⅰ種年額522,500円)または、30%(Ⅱ種年額313,500円)を、原則4年間減免します。

特別経済支援「人間たれ」奨学金

建学の精神「人間たれ」の基本理念を汲み、経済的事情で大学進学が困難である方への修学支援を積極的に行うことを目的に設立している奨学金制度です。採用された場合は、入学金全学免除、原則4年間の授業料を50%免除します。対象となる入試は、一般推薦入試A日程、学力入試A日程、センター試験利用入試Ⅰ期です。

同窓会奨学金について

四日市大学同窓会では卒業生または在学生のご子息、ご令嬢、ご兄弟姉妹などが、四日市大学に入学を希望される際に、入学検定料の一部補助、入学金相当額を補助する「四日市大学同窓会入試奨学金制度」を実施しています。

※詳細につきましては、入試広報室までお問い合わせください。

大学行事予定(2019年1月～)

1月12日(土) 留学生弁論大会・懇親会
 1月19日(土) 大学入試センター試験
 1月20日(日) 大学入試センター試験
 1月30日(水) 入学試験(学力A日程)
 1月31日(木) 入学試験(学力A日程)
 2月 3日(日) わかもの学会
 2月 5日(火) 留学生入学試験(B日程)
 2月21日(木) みえまちキャンパス

2月22日(金) 入学試験(学力B日程)
 3月 8日(金) 入学試験
 (学力C日程、クラブ推薦D日程)
 3月 9日(土) COC シンポジウム
 3月15日(金) 学位記授与式、卒業記念パーティー
 3月23日(土) オープンキャンパス
 3月25日(月) 入学試験(AO、社会人、編入学)